シルバー音楽部だより

令和8年10月31日

秋も大分深まり、やっと陽気も安定してきたでしょうか。
シルバー大学の活動も折り返し点となります。音楽教室も
5曲目の「歌よありがとう」に入りました。音程をしっかり覚え
高音部と低音部の対比を楽しんで歌っていきたいと思います。

1. 日程

11月14日
(11月21日)→ 当初の予定には入って
いませんでしたが、入れて貰いました。
12月5日
12月19日



お願い

年度はじめに出る年間計画の日程が変更になる場合があります。
今迄度々言ってきましたが、私の出すこの「音楽部だより」の日程が
正しいので、必ず確認して頂きたいです。

2.「歌う」ということ

今期は「歌」そのものが題材となっている曲を歌ってきました。
さて、皆さんにとって「歌」とは、「歌うこと」とは何ですか？
お一人々々の歌についての思いを、後日伺いたいと思うので、よろしく
お願いします。

伝言板

シルバー大学創立に大きく関わった初代学長の秋山照子先生を
ご存じの方も多いと思います。先生は第三日暮里小に長い間教員として、
そして最後は校長先生として、荒川区の教育に力を尽くされた方でした。
私は三日小の卒業生です。残念ながら担任はして頂かなかったのですが
小学生の頃から色々な形で関わらせて頂き、母共々お世話になりました。
先日、その秋山先生から頂いた平成7年の年賀状が出てきて、懐しく読み
かえしました。そこには鶴見祐輔(戦前の政治家)やバーナード・ショー
(劇作家)の諺が書かれていました。なるほどな、と思ったのでご紹介します。

「望み心に満つれば人老ゆることなし」鶴見祐輔

「人間を賢くするものは経験ではなく未来に対する望みや期待だ」バーナード・ショー

そして秋山先生は最後にこう書いていらっしゃいました。

「いつでも学び続ける喜びを持って今年も歩んで参りたく存じます。」